

環境アセスメント学会
2020年度 第19回大会プログラム

The 19th Annual Conference Program in 2020
The Japan Society for Impact Assessment



2020年9月5日(土)、9月6日(日)
5-6 September, 2020

2020 年度環境アセスメント学会第 19 回大会 開催について

2020 年度環境アセスメント学会第 19 回大会については、桜美林大学新宿キャンパスで 9 月 4 日(金)～5 日(土)に開催する旨をこれまで学会誌や学会ホームページでご案内してきたところですが、新型コロナウイルスの感染対策の一環として、会場校の桜美林大学において、キャンパス施設の学外貸し出しを 2021 年 3 月末まで停止する旨の決定がなされました。

そのため、同大学での開催が不可能となりましたので、学会の行事委員会において協議した結果、オンライン方式での開催に切り替えることを決定いたしました。

参加を予定されていた皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご了解のほどお願い申し上げますとともに、ふるってご参加下さいますようにあらためてお願い申し上げます。

なお、この開催方式変更に伴い、開催日程を 1 日繰り下げ、9 月 5 日(土)～6 日(日)に開催することといたしました。

また、ポスター発表と技術展示については、展示会場がない開催方式のため、恐縮ですが中止とさせていただきますので、ご了解下さい。さらに、エクスカージョンと懇親会についても中止とさせていただきますので、あわせてご了解下さい。

環境アセスメント学会第 19 回大会実行委員長 片谷 教孝
(学会副会長/桜美林大学)

【参加申込等に係る注意事項】

- ・大会に参加される方は、原則として、事前の大会参加申込と参加費振込が必要となります。
- ・学会ホームページに掲載の方法で参加申込及び参加費振込をお願いします。大会の参加申込の締切は 8 月 27 日(木)です。
- ・オンライン参加に必要な ID 等及び要旨集ダウンロードの情報は、事前申し込みをいただいた方にお送りします。
- ・なお、開会式及びシンポジウム「洋上風力発電と環境アセスメント」は一般公開としますので、参加申込のみで参加いただけます。この場合、配布資料は発行いたしません。配布資料をご入用の方は、大会の一般参加申込あるいは要旨集のご購入をお願いいたします。

お問い合わせ：環境アセスメント学会第 19 回大会実行委員会事務局
E-mail：jsia2020obirin@gmail.com

2020年度 第19回大会プログラム

日程 2020年9月5日（土）、6日（日）

方式 WEB方式

大会スケジュール・プログラム概要

大会1日目（9月5日、土曜日）

午前	<p>9:30-12:00 特別集会 (Web方式: Zoom)</p> <p>テーマ「JICA環境社会配慮ガイドライン-10年の歩みと改定へ向けて-」</p> <p>・コーディネーター：二宮浩輔（学会環境社会配慮研究会長／山梨県立大学）</p> <p>(1) 趣旨説明 【9:30～9:40】(10分) 二宮浩輔（学会環境社会配慮研究会長／山梨県立大学）</p> <p>(2) 話題提供 【9:40～10:50】(70分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境社会配慮ガイドラインの改定へ向けて」 加藤健（国際協力機構） ・「助言委員会委員での役割と経験から感じた課題」 作本直行（日本貿易振興機構） ・「ガイドラインを踏まえたODA事業における効果的な環境社会配慮の在り方について：工事・供用期間中のフォローアップの重要性」 林田貴範（㈱国際開発センター） ・「ガイドライン改定への議論のポイント」 日比保史（コンサベーション・インターナショナル・ジャパン） <p>～休憩10分～ 【10:50～11:00】</p> <p>(3) コメンテーターからの意見 【11:00～11:30】(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳憲一郎（学会顧問／明治大学） ・村山武彦（学会常務理事／東京工業大学） <p>(4) 意見交換・まとめ 【11:30～12:00】(30分)</p> <p>コーディネーター：二宮浩輔（学会環境社会配慮研究会長／山梨県立大学）</p> <p>登壇者：上記報告者4名、上記コメンテーター2名</p>
午後	<p>12:00-13:30 休憩</p> <p>13:30-13:40 開会式 (Web方式: Zoomウェビナー)</p> <p>開会挨拶 藤田八暉（学会会長／久留米大学） 片谷教孝（学会副会長・大会実行委員長／桜美林大学）</p> <p>13:40-16:30 企画委員会主催シンポジウム (Web方式: Zoomウェビナー)</p> <p>テーマ「洋上風力発電と環境アセスメント」</p> <p>・司会進行：佐藤律子（学会理事／日本工営㈱）</p> <p>(1) 趣旨説明 【13:40～13:45】(5分) 上杉哲郎（学会常務理事／㈱日比谷アメニス）</p> <p>(2) 報告 【13:45～15:25】(各25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「洋上風力発電における環境アセスメントの取り組み」 堀上勝（環境省環境影響評価課長） ・「国内外における洋上風力発電の動向」 斉藤長（一般社団法人日本風力発電協会 理事・企画部長） ・「水鳥と洋上風力発電」 風間 健太郎（早稲田大学准教授） ・「海生生物と洋上風力発電」 赤松友成（公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所） <p>～休憩5分～ 【15:25～15:30】</p> <p>(3) パネルディスカッション 【15:30～16:30】60分</p> <p>コーディネーター 村山武彦（学会副会長／東京工業大学）</p> <p>登壇者：上記報告者4名</p>

【シンポジウム聴講者の方へ注意事項】

- ・大会実行委員会よりメールで送付されたURLと参加者IDを用いて、名前を「ID+氏名（例：906壺瀬須太郎）※必ず参加登録された本名のフルネームを使ってください。ニックネームでの参加は拒否されます。」としてZoomウェビナーに入室してください。
- ・入室に当たっては時間に余裕を持ってください。実行委員会で確認できるまで待機室でお待ちください。
- ・質疑応答において、ご意見・ご質問がある方は、「Q&A」のボタンを押してください。
- ・最初に所属と氏名ご記入し、その後、ご意見・ご質問を記入してください。時間の関係上すべてのご意見・ご質問を紹介できないこともあります。

大会2日目（9月6日、日曜日）

	第1会場	第2会場
午前	9:00-9:20 (Web方式: Zoom) 奨励賞受賞記念講演 実務部門受賞者 仲條竜太 (アジア航(株)) 「環境コンサルタント技術者として目指すこと」	—
	9:20-9:30 準備	
	9:30-10:50 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション1 「自然環境①」 4件	9:30-10:50 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション2 「制度・政策、情報」 4件
	10:50-11:00 準備	
	11:00-12:00 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション3 「自然環境②」 3件	11:00-12:00 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション4 「国際」 3件
午後	12:00-13:00 休憩	
	13:00-14:20 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション5 「風力発電①」 4件	13:00-14:20 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション6 「住民参加」 4件
	14:20-14:30 準備	
	14:30-15:30 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション7 「風力発電②」 3件	14:30-15:30 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション8 「気候変動、事例」 3件
	15:30-15:40 準備	
	15:40-16:40 (Web方式: Zoom) 一般研究発表 セッション9 「太陽光、地熱」 3件	—

【特別集会・一般研究発表の聴講者の方へ注意事項】

- ・大会実行委員会よりメールで送付されたURLと参加者IDを用いて、名前を「ID+氏名（例：906壺瀬須太郎）※必ず参加登録された本名のフルネームを使ってください。ニックネームでの参加は拒否されます。」としてZoomミーティング入室してください。
- ・入室に当たっては時間に余裕を持ってください。実行委員会で確認できるまで待機室でお待ちください。
- ・Zoomミーティングに入る際には、講演者の邪魔にならないよう、マイクのミュート並びにカメラを停止してください。
- ・発表や質疑応答の妨げにならないようにしてください。座長(ホスト)が強制的にミュートやビデオの停止を行うことがあります。
- ・質疑応答において、ご意見・ご質問がある方は、「反応」の「挙手」ボタンを押してください。座長(ホスト)から指名されたら、ビデオをオンにし、マイクのミュートを外してお話してください。最初に所属と氏名を名乗ってください。時間の関係上すべてのご意見・ご質問を紹介できないこともあります。
- ・講演を録音・録画しないでください。「レコーディング」ボタンがありますが、許可されません。

【プログラム詳細】

一般研究発表プログラム（注：肩書きは報告者のみ、発表時間＋質疑は各20分）

大会2日目【9月6日（日）】

セッション1「自然環境①」

座長：林希一郎(学会理事)

(座長補佐：田中亨)

1	9:30-9:50	「企業におけるノーネットロス目標についての研究」 ○阿部旭秀（東京都市大学）、田中章
2	9:50-10:10	「A Study on the Non-Adoption of Biodiversity Offsets Policy in EIA Systems of Japan」 ○Leah HAN（東京大学）、田中章
3	10:10-10:30	「中国における環境アセスメント分野の最新動向に関する研究 - 生態保全に着目して -」 ○陳純（東京都市大学）、田中章
4	10:30-10:50	「里山管理の効果に着目した生物多様性定量評価の開発 - オオムラサキを例にとって -」 ○浅見友里（東京都市大学）、田中章

セッション2「制度・政策・情報」

座長：石野耕也(学会常務理事)

(座長補佐：土門優介)

1	9:30-9:50	「NEPAからSDGsへ」 ○原科幸彦（千葉商科大学）
2	9:50-10:10	「環境影響評価と都市計画手続きの関係性について」 ○長田篤佳（(一社)日本環境アセスメント協会／大成建設株）、田中亨、山岸丈二、濱田敏宏、皆川克志
3	10:10-10:30	「諸外国の海洋石油・天然ガス開発に係る環境影響評価の基盤」 ○那須卓（(一財)エンジニアリング協会）、中島茂、北川瑞己、西野卓也
4	10:30-10:50	「環境アセスメントにおけるティアリングの起源に関する研究」 ○後藤圭輔（東京都市大学）、田中章

セッション3「自然環境②」

座長：倉阪秀史(学会理事)

(座長補佐：矢代幸太郎)

1	11:00-11:20	「諸外国の開発援助機関における環境アセスメント制度のミティゲーション規定に関する比較研究」 ○井上結貴（東京都市大学）、田中章
2	11:20-11:40	「日本版In-lieu feeプログラムの枠組に関する研究-緑地創成に関する税制度に着目して-」 ○川村昂史（東京都市大学）、田中章
3	11:40-12:00	「米国におけるIn-Lieu Feeプログラムの起源と変遷」 ○城木毅（東京都市大学）、田中章

セッション4「国際」

座長：梶谷修（学会常務理事）

(座長補佐：伴武彦)

1	11:00-11:20	「インド国ムンバイ市におけるフラミンゴ類の行動パターン及びインフラ建設に係る影響緩和の方策について」 ○黒木浩則（(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル）、村田浩一、川村敦、宮崎芳樹、古賀藍、小西知行、黒江博信、達見行智
2	11:20-11:40	「途上国インフラ整備支援事業における有効な環境セーフガード実施に関する考察：ネパール国緊急震災復興事業（住宅セクター）を事例として」 ○林田貴範（(株)国際開発センター）
3	11:40-12:00	(発表取り下げ)

セッション5 「風力発電①」

座長：栗本洋二(学会常務理事)

(座長補佐：大澤晃一)

1	13:00- 13:20	「風力発電に係るゾーニングとその活用について」 ○柳田邦玲雄（環境省）、豊村紳一郎、會田義明
2	13:20- 13:40	「風力発電所のリプレースに係る環境影響評価の合理化に関するガイドラインについて」 ○會田義明（環境省）、豊村 紳一郎、河田 悠
3	13:40- 14:00	「環境アセスメントにおける累積・複合的影響への対応に関する課題」 ○土門優介（(一社)日本環境アセスメント協会/㈱ドーコン）、上田未央子、中田俊宏、山本庸介、吉田豪
4	14:00- 14:20	「諸外国の風力発電事業等における環境影響評価に係る手続き期間」 ○細川岳洋（アジア航測㈱）、會田義明

セッション6 「住民参加」

座長：村山武彦(学会常務理事)

(座長補佐：長岡篤)

1	13:00- 13:20	「山梨県におけるリニア中央新幹線の環境影響評価に対する計画沿線住民の意識分析」 ○伊東英幸（日本大学）、山口公輝、菊地隆夫、藤井敬宏
2	13:20- 13:40	「夢洲地区をめぐる市民アセスとコアジサシ繁殖地の保全をめぐる行政との協働について」 傘木宏夫（NPO地域づくり工房）、○加賀まゆみ、磯上慶子
3	13:40- 14:00	「条例アセスにおける周知・住民参加に関する調査・研究」 鎌田英人（(一社)日本環境アセスメント協会/㈱復建技術コンサルタント）、○隈清悟、○二川郁子、○小野寺孝典、湯浅晃一、森本尚弘
4	14:00- 14:20	「COVID-19対応等における環境影響評価法に基づく説明会の開催状況と課題」 ○傘木宏夫（NPO地域づくり工房）

セッション7 「風力発電②」

座長：佐藤律子（学会理事）

(座長補佐：佐藤圭一)

1	14:30- 14:50	「風力発電施設に係るシークエンス景観における配慮事項」 ○荒井歩（東京農業大学）、北市裕樹
2	14:50- 15:10	「風力発電所周辺で発見された鳥類及びコウモリ類の死亡事例に関する調査」 ○塚本吉雄（日本風力発電協会/アジア航測㈱）、小園茂、泉健司、小坂 秀樹
3	15:10- 15:30	「法アセスにおける主務大臣意見等の分析に関する研究」 ○椿貴博（(一社)日本環境アセスメント協会/アジア航測㈱）、齊木美悠、佐々木孝太郎、佐藤高広、下條肇、長田篤佳、濱田敏宏、皆川克志

セッション8 「気候変動、事例」

座長：朝賀広伸（学会常務理事）

(座長補佐：赤松宏典)

1	14:30- 14:50	「環境アセスメントにおける気候変動に伴う影響検討」 ○大谷正太（(一社)日本環境アセスメント協会/㈱エイト日本技術開発）、青木淳、平尾実、渡邊英明
2	14:50- 15:10	「フクロウの生息適地の解析及び道路建設事業による生息環境への影響の考察」 ○芦朋也（㈱総合技術コンサルタント）、畠中浩、稲葉正男、森本清信、井口稔也、寒川勇己
3	15:10- 15:30	「環境創造事業における触れ合い活動の場に関するポジティブ・アセスメントの事例研究」 ○登山暁夫（(一社)日本環境アセスメント協会/㈱日建設計）、石崎伸次、柴田勝史、岡本桂子、東尾治伸、湯浅晃、森本尚弘

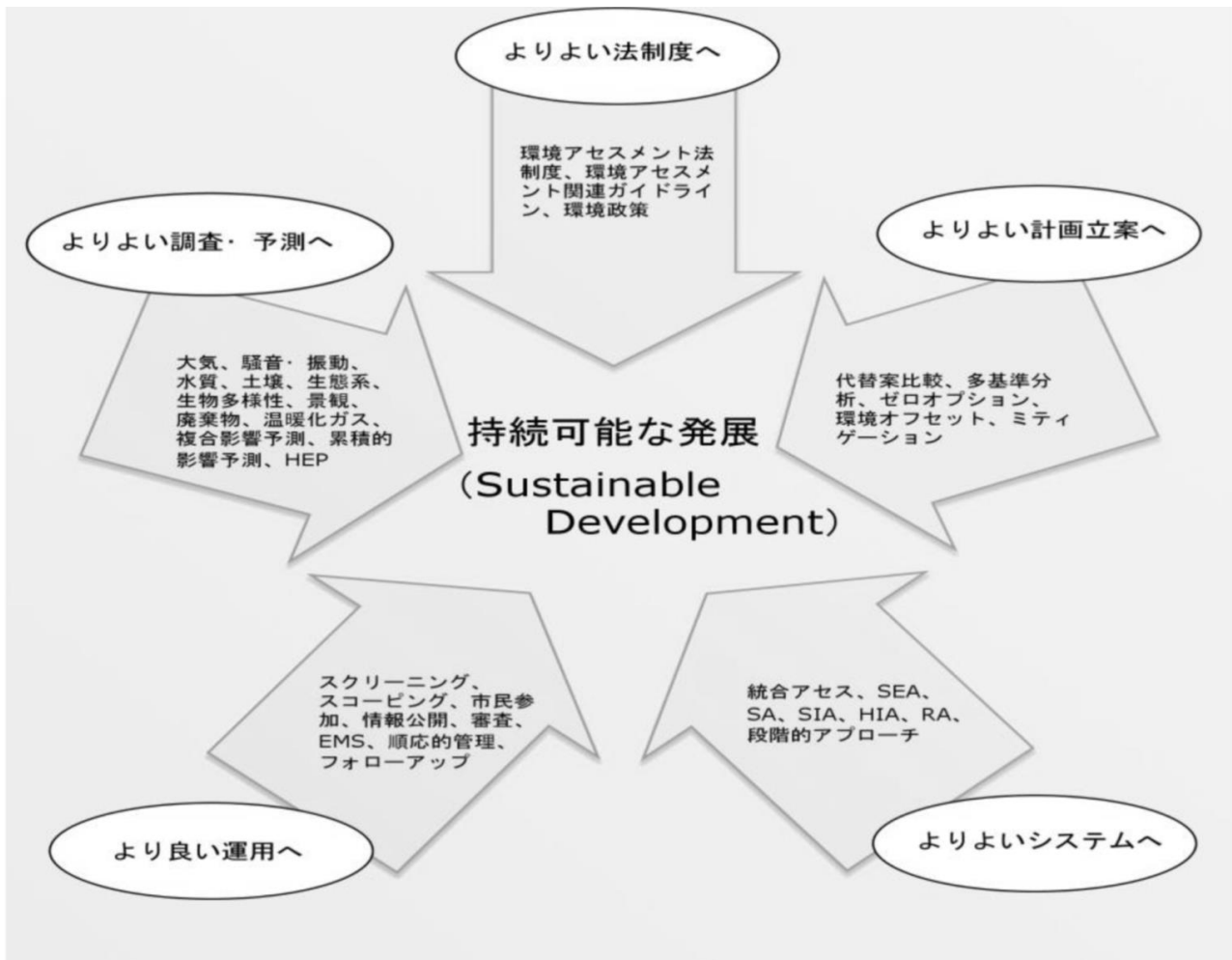
セッション9 「太陽光、地熱」

座長：真田純子（学会理事）

（座長補佐：鈴木聡司）

1	15:40-16:00	「太陽光発電の環境配慮ガイドラインについて」 ○森田紗世（環境省）、大澤晃一
2	16:00-16:20	「再エネ等事業終了後の土地利用変化等に係る環境影響評価技術の適用性に係る検討」 ○尾原正敬（(一社)日本環境アセスメント協会／(株)千代田コンサルタント）
3	16:20-16:40	「地熱発電所の環境アセスメント早期着手によるリードタイム短縮化手法の検討」 ○岡田真秀（東北緑化環境保全(株)）、木村啓

参考：環境アセスメント学会が求めるもの



特別集会

「JICA 環境社会配慮ガイドライン -10年の歩みと改定へ向けて-」

■企画趣旨

環境社会配慮に関する JICA と JBIC のガイドラインが統合されて 10 年が経過し、改定に向けた包括的検討が進められている。本学会でも、これまでに環境社会配慮研究会の活動やサロン会、公開セミナー等を通じて、ガイドラインの運用、あるいは環境社会配慮の課題について様々な視点から議論を重ねて来た。

このような経緯を踏まえ、JICA をはじめ、環境社会配慮に関心を持ち運用に関わって来た研究者やコンサルタント等、幅広い視点からの話題を集め、コメンテーターからの意見も踏まえて、ガイドラインの成果や課題および環境社会配慮の今後の展望について建設的な意見交換を行うことを目的として本集会を開催する。

■日 時

2020 年 9 月 5 日（土）9:30～12:00

■方 式

Web 方式（Zoom）

■進 行

- ・コーディネーター：二宮浩輔（学会環境社会配慮研究会長／山梨県立大学国際政策学部）

1) 趣旨説明 (10分)

二宮浩輔（環境社会配慮研究会長／山梨県立大学国際政策学部）

2) 各方面からの話題提供 (70分)

(1) 「環境社会配慮ガイドラインの改定へ向けて」

加藤健（国際協力機構審査部環境社会配慮審査課長）

(2) 「助言委員会委員での役割と経験から感じた課題」

作本直行（独立行政法人 日本貿易振興機構（JETRO）顧問・環境社会配慮助言委員）

(3) 「ガイドラインを踏まえた ODA 事業における効果的な環境社会配慮の在り方について：工事・供用期間中のフォローアップの重要性」

林田貴範（㈱国際開発センター主任研究員）

(4) 「ガイドライン改定への議論のポイント」

日比保史（コンサベーション・インターナショナル・ジャパン）

～休憩 5 分～

3) コメンテーターからの意見 (30分)

(1) 柳憲一郎（学会顧問／明治大学）

(2) 村山武彦（学会常務理事／東京工業大学）

4) 意見交換・まとめ (30分)

コーディネーター：二宮浩輔（環境社会配慮研究会長／山梨県立大学）

登壇者：上記報告者 4 名、上記コメンテーター 2 名

企画委員会主催シンポジウム 「洋上風力発電と環境アセスメント」

■企画趣旨

再生可能エネルギーの今後の柱として洋上風力発電が期待されている。洋上風力発電促進法が施行され、今後、各地で大規模な洋上風力発電が展開していくことが想定される。これまでも、洋上風力発電にかかる環境アセスメントは実施されてきているが、これまでの実績も俯瞰しつつ、大規模化する洋上風力発電の環境アセスメントのあり方について議論を深める。

■日 時

2020年9月5日（土）13:40～16:30

■方 式

Web方式（Zoom ウェビナー）

■進 行

・司会進行：佐藤律子（学会理事／日本工営㈱）

1) 趣旨説明

上杉哲郎（学会常務理事／㈱日比谷アメニス） 13:40～13:45

2) 報告(各25分)

(1) 「洋上風力発電における環境アセスメントの取り組み」 13:45～14:10
堀上勝（環境省 環境影響評価課長）

(2) 「国内外における洋上風力発電の動向」 14:10～14:35
斉藤長（一般社団法人日本風力発電協会 理事・企画部長）

(3) 「水鳥と洋上風力発電」 14:35～15:00
風間健太郎（早稲田大学 准教授）

(4) 「海生生物と洋上風力発電」 15:00～15:25
赤松友成（公益財団法人笹川平和財団海洋政策研究所）

～休憩5分～

3) パネルディスカッション

コーディネーター 村山武彦（学会副会長／東京工業大学）

登壇者：上記報告者4名

15:30～16:30

環境省主催・環境アセスメント学会後援シンポジウム

「太陽光発電事業の環境配慮の在り方について」

プログラム

■開催概要

名 称：太陽光発電事業の環境配慮の在り方について
日 時：令和2年9月4日（金）14:00～17:00
場 所：Web 会議（東京都内の会議室における講演等を中継）
主催等：主催 環境省
後援 環境アセスメント学会
参加費：無料

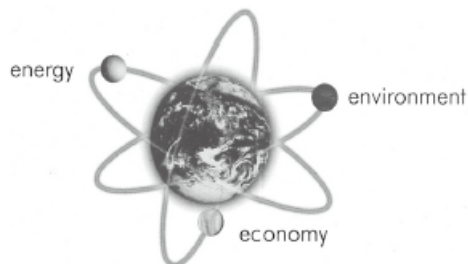
■シンポジウムの構成及び内容の概要

内 容	時間
(1) 開会挨拶 (14:00-14:10) 堀上 勝 (環境省 大臣官房 環境影響評価課長)	10 分
(2) 話題提供 (14:10-15:10) ① (仮) 太陽光発電事業に係る合意形成に向けた取組 (ガイドライン等) について 錦澤 滋雄 (東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授) ② (仮) 太陽電池発電設備の電気保安の確保について 経済産業省 産業保安グループ 電力安全課 ③ (仮) 林地開発許可制度の運用について 永島 瑠美 (林野庁 森林整備部 治山課 海岸林造成推進官) ④ (仮) 兵庫県における太陽光発電施設に係るアセス条例等の動向について 管 範昭 (兵庫県 農政環境部 環境管理局长)	15 分 15 分 15 分 15 分
休 憩 ※質問受付 15:10～15:20 の10分間	20 分
(3) パネルディスカッション (15:30-17:00) テーマ：「太陽光発電事業の環境配慮の在り方について」 参加者：コーディネーター 片谷 教孝 (桜美林大学 教授) パネリスト 堀上 勝 (環境省 大臣官房 環境影響評価課長) 錦澤 滋雄 (東京工業大学 環境・社会理工学院 准教授) 経済産業省 産業保安グループ 電力安全課 永島 瑠美 (林野庁 森林整備部 治山課 海岸林造成推進官)	90 分
閉 会	-

(敬称略)

注：申込方法などの詳細は、環境省報道発表資料をご覧ください。

JANUS



持続可能な未来のために——

- 環境技術コンサルティング
- エネルギー技術コンサルティング
- システム工学技術コンサルティング
- エネルギー／環境経済コンサルティング

日本エヌ・ユー・エス株式会社

本 社 〒106-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25

Tel 03-5925-6710 (大代表) Fax 03-5925-6715 (大代表)

<http://www.janus.co.jp/>

事業所等 横浜オフィス (横浜市) 青森 (六ヶ所村)

福島 (福島市) 新潟 (刈羽村) 名古屋 (名古屋市)

福島浜通り (いわき市) 沖縄 (那覇市)

JNK Environmental Research & Consulting Co., Ltd. (ベトナム)

自然を識り、豊かな未来につなぐ



株式会社東京久栄

TOKYO KYUEI CO, LTD.

- ✓ 環境コンサルタント
- ✓ 海洋エンジニアリング
- ✓ 水中メンテナンス
- ✓ 新領域 (再エネ、地域振興)

〔本 社〕 東京都千代田区岩本町 2-4-2

岩本町江戸新金網ビル 4F, 7F

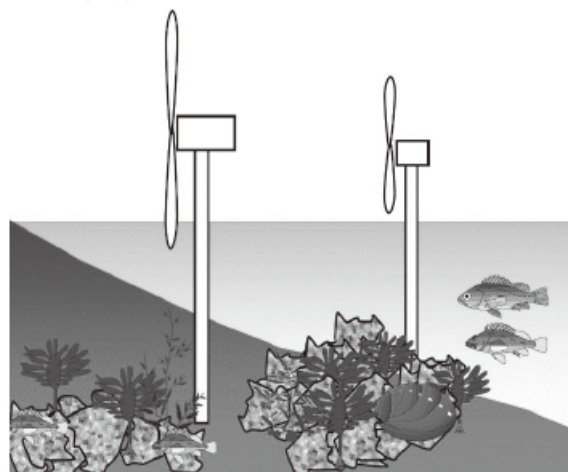
(2020年5月に移転しました)

〔技術センター〕 埼玉県川口市芝 6906-10

〔支店/営業所〕 九州/ 千葉、磯部、

四国、広島、沖縄、

ジャカルタ



【藻場造成による漁業振興イメージ】

未来を切り拓く環境アセスメント

2020 年度主要施策

- 再生可能エネルギー分野に関する環境影響評価の進展への貢献
- 支部活動の活性化
- 海外交流によるアジア等地域の持続的発展への貢献
- 「環境アセスメント士」の活躍の場の拡大
- SDGs 等新たな課題に対する検討と発信

JEAS 新中長期ビジョン（2018～2027）に基づき活動しています。

「環境アセスメント士」 認定資格試験

「環境アセスメント士」認定資格制度は、環境アセスメントに専門特化した資格制度であり、（一社）日本環境アセスメント協会が環境アセスメント実務者の専門的な技術・技能を認定するものです。本資格制度による「環境アセスメント士」有資格者数は、現時点で総勢約 570 名に達しました。

2020 年度の認定資格試験は、11 月 23 日(月・祝)に実施します。

<2020 年度 認定資格試験の概要>

【資格部門】：「生活環境部門」並びに「自然環境部門」

【受験資格】：四年制大学卒；実務経験 5 年以上、大学院卒；3 年以上、左記以外；8 年以上

【試験科目】：4 科目(業務経験、専門知識、共通基礎、管理技術等)

【試験日時】：2020 年 11 月 23 日(月・祝)

【試験場所】：仙台、東京、大阪、福岡

(問合せ先) 資格・教育センター

TEL : 03-3221-6731 FAX : 03-3221-6732 E-mail : a-qec@jeas.org

(一社) 日本環境アセスメント協会 (JEAS)

〒102-0092 東京都千代田区隼町 2-13 US 半蔵門ビル 7F

TEL : 03-3230-3583 FAX : 03-3230-3876 E-mail : jeas@jeas.org



詳しい協会活動の内容、入会申込み等は、ホームページ(URL: <https://www.jeas.org>)をご覧ください。